



令和6年5月1日

各位

会社名 株式会社テーオーシー
代表者名 代表取締役社長 大谷 卓男
(コード番号 8841 東証スタンダード市場)
問合せ先 常務取締役事務管理部門担当
石田 雅彦
電話番号 (03)3494-2111

減損損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和5年10月31日に公表いたしました令和6年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

なお、配当予想につきましては、年間配当金10円（第2四半期末実績5円、期末予想5円）に変更はありません。

記

1. 令和6年3月期通期連結業績予想数値の修正（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	13,500	△550	△200	4,700	49.99円
今回発表予想 (B)	13,710	2,280	2,660	5,120	54.56円
増減額 (B-A)	210	2,830	2,860	420	
増減率 (%)	1.6%	—	—	8.9%	
(ご参考)前期実績 (令和5年3月期)	15,686	4,266	4,643	3,257	34.28円

2. 減損損失の内容および業績予想修正の理由

TOCビルは令和6年3月末に閉館しましたが、令和6年4月9日付で公表した「新TOCビル計画の変更等に関するお知らせ」の通り、検査・メンテナンス・リニューアルを実施し、令和6年9月頃に営業を再開することといたしました。

前回発表の業績予想はTOCビル等の令和5年9月末の帳簿価額（約2,600百万円）を令和6年3月までに全額償却する前提でしたが、上記の計画変更に伴いTOCビルの減損判定を行い、不動産鑑定評価等に基づいて令和6年3月末帳簿価額（約2,400百万円）を減損損失として特別損失に計上する形に変更する見込みとなり、これを織り込みました。

併せて、他の主要ビルの稼働回復等に伴う売上の状況、修繕費や光熱水道料低減等の費用計上の状況も踏まえて令和6年3月期通期連結業績予想を見直しました。この結果、売上高、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想を若干上回り、また営業利益、経常利益は、減価償却費から減損損失への計上変更を主因に前回発表予想を大幅に上回り黒字となる見通しです。

(注) 上記の業績予想は、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によりこれら予想数値とは異なる場合があります。

以上